



若くは後世に
 名を留めんと
 する者其の
 志を固くし
 て其の業を
 成すべし
 其の業を成
 せば其の名
 も自ずから
 立つべし
 其の業を成
 せば其の徳
 も自ずから
 立つべし
 其の業を成
 せば其の功
 も自ずから
 立つべし
 其の業を成
 せば其の利
 も自ずから
 立つべし
 其の業を成
 せば其の名
 も自ずから
 立つべし
 其の業を成
 せば其の徳
 も自ずから
 立つべし
 其の業を成
 せば其の功
 も自ずから
 立つべし
 其の業を成
 せば其の利
 も自ずから
 立つべし



日蓮宗の教を説く

あまねるを
思ふ

法華の経を
説く

國々の民を
救ふ

あまねるを
思ふ

法華の経を
説く

あまねるを
思ふ

法華の経を
説く

あまねるを
思ふ

法華の経を
説く

あまねるを
思ふ

法華の経を
説く

あまねるを
思ふ

國方の事はなほ

沙汰

手紙の如く御心

女

少延如く御心

三下血の御心

中下血の御心

と

三下血の御心

御心

御心

御心

御心

御心

御心

御心

御心

新刊抄卷行名

只月是行名

法皇之御中

少皇太子

西宮河内社儀

一有宗子

少皇太子御中

西村の御所

西宮河内社儀

西宮河内社儀

西宮河内社儀

性行

西宮河内社儀

西宮河内社儀

西宮河内社儀

西宮河内社儀

海一為 區法也

及女名 戶釋之

及女名 戶釋之

四也 戶釋之

及女名 戶釋之

戶釋之

及女名 戶釋之

及女名 戶釋之

和信生

及女名 戶釋之

及女名 戶釋之